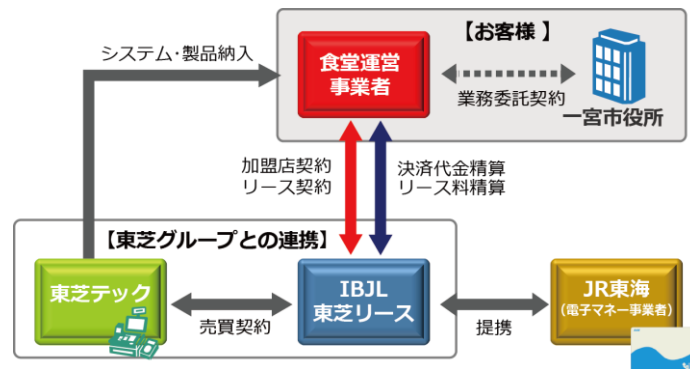


一宮市役所食堂で「TOICA電子マネー決済」がスタートしました

IBJL 東芝リース株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：工藤 泰之、以下「IBJL 東芝リース」）は、交通系ICカードTOICAを運営する東海旅客鉄道株式会社（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：柘植 康英、以下「JR東海」）と電子マネー加盟店開拓業務で提携しており、一宮市役所食堂が「TOICA電子マネー決済」を導入する際の契約、および決済金額の精算業務を担い、併せて、食堂精算システム一式をリースで提供いたしました。

<導入概要>

- 導入電子マネー：「TOICA」決済
※相互利用が可能な各種電子マネーもご利用いただけます。
- サービス開始日：2014年5月7日
- 導入施設：一宮市役所11F 食堂
- 導入製品：食堂精算システム一式
(東芝テック製、他)



一宮市役所は本年5月に庁舎の建て替えを行い、新庁舎の11階に一般市民も利用可能な食堂を設けました。食堂運営事業者の決定はプロポーザル方式で実施され、提案内容に電子マネー決済を盛り込んだ食堂事業者が選任されました。この食堂事業者にIBJL 東芝リースから提案したのがTOICA電子マネー決済とオートレジを活用した食堂精算システムです。食堂の利用者が選択したメニューを食器に付属のICタグで読取り電子マネーで決済することにより、レジの無人化、キャッシュレス化が可能になります。昼食時など混雑する時間帯はオートレジの利用でスピーディに精算できるようになり、レジ待ち時間が解消されたと職員や一般の方々にもご好評いただいております。

IBJL 東芝リースは全国の交通系電子マネー事業者と提携しており、またPOSレジ最大手の東芝テック株式会社との強固な拡販連携により、首都圏を中心に職域食堂への電子マネーおよび食堂精算システムの導入実績が多数ございます。中部エリアでは今回の一宮市役所食堂が初めてのケースとなりますが、これまでの導入実績で培ったノウハウをベースにTOICA決済導入を推進し、中部エリアのお客様に便利なサービスを提供してまいります。

★電子マネーサービスはこちら

<https://www.toshiba-lease.co.jp/service/emoney/>